

市長の施政方針に対し 各会派の代表質問が行われました

第1回定例会初日の3月1日に、針谷力市長による平成29年度の市政運営の基本方針並びに施策について述べる施政方針演説が行われました。

3月14日には施政方針に対し、各会派の代表者が代表質問を行いました。



代表質問

質問と答弁の概要をお知らせします。



真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)

コンパクトシティへの取組みについて

問 高度成長期後の日本において急激、かつ加速度的に進む少子高齢化社会に対応すべく、政府の打ち出したコンパクトシティへの古河市の考え方と今後の方針について伺う。このコンパクトシティの在り方は、限られた財源の中で、いかに効率の良い行政運営を進めるかについて、国の方針や情報をきめ細かく収集し、住環境の整備を

はじめとし、産業、福祉、教育、子育て支援等に、幅広く運用が効く、古河市の将来に大きく作用する重大施策であることを踏まえ、古河市執行部の考え方を尋ねるものである。

答(市長) 国では、人口の急激な減少と高齢化を背景に、財政面及び経済面において、持続可能な都市経営を図るため、コンパクトなまちづくりを目指すこととし、平成26年に立地適正化計画が制度化された。古河市においても、人口減少に対応するまちづくりの具現化として、平成28年度から3カ年事業として、立地適正計画の策定に取り組んでいる。高齢者や子育て世代にとって安心できる生活環境を実現すること、持続可能な都市経

営を可能とすることを目的に、医療、福祉、商業等の都市機能を誘導し、集約する区域や一定のエリアにおいて人口密度を維持し、生活サービス等が持続的に確保できるよう、居住を誘導する区域を定める。今後、それらの区域を結ぶ公共交通や医療、福祉施設等都市再生特別措置法による各施策に対する国等からの財政支援などの情報収集に努め、各機関とも連携し、積極的に活用しながら持続可能なまちづくりを進めていきたい。

